

彫刻家 松村秀太郎展

高潔なる表現を求めて



「折鶴」

2020 2/29(土) ▶ 3/29(日)

開館時間 9:00-17:00 (入館は 16:30 まで)  
火曜日休館  
一般 500 円 高大生 300 円 中学生以下無料

主催 南砺市 南砺市立福光美術館  
共催 富山新聞社 北國新聞社  
後援 北日本放送 となみ衛星通信テレビ  
富山エフエム放送

南砺市立  
**福光美術館**  
Fukumitsu Art Museum

〒939-1626 富山県南砺市法林寺 2010  
Tel.0763-52-7576 Fax.0763-52-7515  
<https://nanto-museum.com/>







「銀猫」

卒業後は岐阜県の土岐郡立陶器工業学校（現・岐阜県立多治見工業高等学校）で原型教師として輸出用陶人形などを手掛け、大正5年、28歳で福光へ帰郷してからは、自宅の庭に窯を築いて作陶をはじめます。陶芸は余技としながら、その仕事は実に本格的なもので、その技術は「福光焼」として伝承されました。帰郷の翌年から富山県立工芸学校で教鞭をとり、献上品「鳳凰」「雌雄の甕置物の原型制作などに携わりました。

松村秀太郎（明治21年―昭和46年）は、富山県福光町（現・南砺市）生まれ。富山県立工芸学校（現・高岡工業高校）彫刻科卒業後、東京美術学校（現・東京藝術大学）彫刻科を卒業し、同校の彫刻科塑造研究科に進学しました。在学中は、高村光雲、白井保次郎らの指導のもと優等生として精勤賞状を受け、官展に2度入選するなど、優秀な成績を修めました。



「アトリエにて」1968（昭43）年頃



「捨て犬」

この度の展覧会では、院展出品作などの彫刻作品を中心に、木彫刻、塑像、陶器、洋画、スケッチなど約120点を一堂に展示します。彫刻の本質を探求し続けたその生涯を展望します。

大正14年から日本美術院彫刻部に毎年出品し、昭和5年院友となり、活躍。昭和14年に教職を辞してからは彫刻に専念し、県内の美術文化振興に貢献しました。昭和36年の日本美術院彫刻部解散に伴い、同志と共に桑々会（さんさんかい）を立ち上げ、生涯、立体芸術に情熱を注ぎました。秀太郎の作品は、事物を写実的に捉えながら、その作風はあたたかさや清閑さを纏い、ひたむきな作家の目を感じさせます。

中止します

■開会式

日時 2月29日（土） 9:30 開会式後、ギャラリートーク

■記念講演会

日時 2月29日（土） ギャラリートーク後（10:30頃）

講師 長谷川 総一郎氏（富山大学名誉教授）

演題 「松村 秀太郎 その人と作品」

■ワークショップ「木の温もりとやさしい音色 木彫りの笛をつくろう」

6cmほどのちいさな木彫りの笛、木の音笛をつくるワークショップです。NHK連続テレビ小説「半分、青い。」にも使われた笛で、楯を使っているとよい香りがします。ストラップにするので、バッグのワンポイントにもなります♪

日時 3月15日（日） 13:30

講師 谷口 信夫氏（木彫工芸作家）

募集 定員20名 小学生4年生以上（以下は保護者同伴）

受講料 1,000円

持ち物 軍手

※お申し込みは福光美術館（0763-52-7576）まで

■ギャラリートーク（当館学芸員による）

日時 3月8日（日） 14:00



- 北陸自動車道・矢部ICより10分
- 東海自動車道福光ICより15分
- 南越スエートICより2分
- JR福光線福光駅より10分
- 全北線より車で40分、バスで60分
- 福光駅よりバス（美術館）へ入（無料、午後のみ運行）

南砺市立

福光美術館

9:00~17:00（入館は16:30まで）

〒939-1626 富山県南砺市法林寺2010

TEL.0763-52-7576 FAX.0763-52-7515

https://nanto-museum.com/



「スケッチ 裸婦」



「母子像」個人蔵



「からす豆文大花瓶」